

【資料7-4】 地域経済ビジョン主要指標についての考察・考え方・要因等

資料 7-4

指標	主要指標についての考察・考え方・要因等	これまでの取組及び今後の対応	所管課																				
就業人口1人あたりの総生産	<p>○令和5年度の実績値なし</p> <p>【参考】 ※市内総生産/就業人口=就業人口1人あたりの総生産 令和元年度(4年度集計) 20,739億円/299,144人≒6,932,830円 令和2年度(5年度集計) 20,344億円/295,272人≒6,889,817円(△43,013円)</p> <p>※国内総生産/就業人口=就業人口1人あたりの総生産 令和元年度(2年度集計) 550兆1,249億円/6,724万人≒8,181,512円 令和2年度(3年度集計) 528兆6,936億円/6,676万人≒7,919,317円(△262,195円)</p>	<p>令和5年度の実績値は出ていないところではあるが、これまでも収益性を高めること、高付加価値の事業を実現させること、人材の育成・確保を柱として取り組んできており、今後も引き続き3つの柱に積極的に取り組むことで地域の稼ぐ力を強化していく。</p>	産業政策課																				
農林水産業産出額	<p>○令和5年度の目標達成率は113.0% 目標作成の根拠となったH28～R2の平均と比較して、水産産出額の増加が要因として挙げられる。</p> <table border="1" data-bbox="457 682 1424 787"> <tr> <td>目標</td> <td>： 農業94億8,500万円</td> <td>林業6億1,600万円</td> <td>水産56億7,300万円</td> <td>合計157億7,400万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>： 農業92億5,200万円</td> <td>林業6億5,900万円</td> <td>水産79億1,300万円</td> <td>合計178億2,400万円</td> </tr> <tr> <td>目標比</td> <td>： -2億3,300万円</td> <td>+4,300万円</td> <td>+22億4,000万円</td> <td>+20億5,000万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>97.5%</td> <td>107.0%</td> <td>139.5%</td> <td>113.0%</td> </tr> </table>	目標	： 農業94億8,500万円	林業6億1,600万円	水産56億7,300万円	合計157億7,400万円	令和5年度	： 農業92億5,200万円	林業6億5,900万円	水産79億1,300万円	合計178億2,400万円	目標比	： -2億3,300万円	+4,300万円	+22億4,000万円	+20億5,000万円		97.5%	107.0%	139.5%	113.0%	<p>これまで、第3期鹿児島市農林水産業振興プランに基づき、担い手農家の確保・育成を図るとともにスマート農林水産業の推進や、6次産業化・農商工等連携の推進など、「稼げる農林水産業」を目指すこととしており、今後も各種施策に取り組む。</p>	農政総務課
目標	： 農業94億8,500万円	林業6億1,600万円	水産56億7,300万円	合計157億7,400万円																			
令和5年度	： 農業92億5,200万円	林業6億5,900万円	水産79億1,300万円	合計178億2,400万円																			
目標比	： -2億3,300万円	+4,300万円	+22億4,000万円	+20億5,000万円																			
	97.5%	107.0%	139.5%	113.0%																			
宿泊観光客数	<p>○令和5年度終了時点における目標達成率は94.5%(378万人/400万人) 第4期観光未来戦略においては「令和5年に令和元年の水準に回復する」と想定しており、令和5年は、新型コロナウイルスの5類感染症への移行や、かごしま国体・かごしま大会の開催などにより、宿泊観光客数が概ねコロナ前の水準に達した。うち外国人は、鹿児島空港の国際線定期便の再開遅れなどにより、回復に遅れがみられた。</p> <p>令和元年：390万人(日本人：340万人、外国人：50万人) 令和5年：378万人(日本人：356万人、外国人：22万人)</p>	<p>宿泊観光客数の増加に向け、これまで、本市独自の宿泊キャンペーンや新たな観光ポスター・PR動画によるプロモーション、かごしま国体・かごしま大会や世界マスターズ水泳選手権九州大会など誘客力の高いイベントの開催のほか、ナイトタイムエコノミーの推進など滞在時間の延長につながる取組等を行ってきた。 今後は、引き続き、本市独自の宿泊キャンペーンなどを実施するほか、令和7年開催の大阪・関西万博を絶好の機会と捉え、ナイトタイムエコノミーのさらなる推進や広域連携によるプロモーションの展開など、観光需要の急拡大が進むインバウンドの誘客などに向けたプロジェクトを重点的に推進していく。</p>	観光戦略推進課																				
観光による経済波及効果	<p>○令和5年度終了時点における目標達成率は75.0%(1,650億円/2,200億円) 第4期観光未来戦略においては「令和5年に令和元年の水準に回復する」と想定しており、令和5年は、消費単価の高い外国人観光客数の回復に遅れがみられたことなどにより、観光による経済波及効果がコロナ前の約8割にとどまった。</p> <p>令和元年：2,057億円 令和5年：1,650億円</p> <p>経済波及効果=観光消費額(観光客数×消費単価)×域内調達率</p>	<p>観光による経済波及効果の拡大に向け、これまで、付加価値の高い新たな観光コンテンツの創出に取り組むとともに、体験型観光メニューや宿泊施設等の高付加価値化への支援を行ってきたほか、サマーナイト大花火大会やおはら祭などのイベントの経済波及効果を調査・分析し、観光消費額の増に向けた取組の検討に活用してきたところであり、今後も引き続き、これらの取組のさらなる推進を図る。</p>	観光戦略推進課																				